

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会

2023.5.2 (火) 晴れ 参加者：14名 9:00~15:30

爽やかな5月の空の下、前日に降った雨のおかげで植物が生き生きとして迎えてくれました。

野の花苑で花や生き物たちに時間を取られ、いつもよりゆっくりしたペースで回りました。

野の花苑―見晴らしの丘―くわくわ森―森西側側溝―田んぼ―俣野、下飯田遊水地

外―外来種 園―園芸種

野の花苑



白菖蒲 シロアヤメ
アヤメは泉区の区花



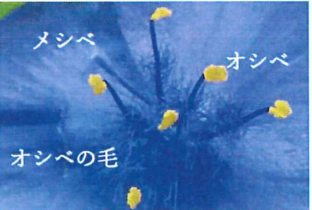
髭撫子 ヒゲナデシコ 園
アメリカナデシコともいう



靱草 ウツボグサ 蕾 花が
武士が矢を入れた用具に似る



山保呂之 ヤマホロシ
山を滅ぼすくらいの生育力



紫露草 ムラサキツクサ 園 咲き始めから花のアップまで
北米原産 大変丈夫で勝手に色々なところから生えてくる



藪蛇苺 ヤブヘビイチゴ やや日陰の場所で生育
葉は濃緑色で艶があり、葉先が尖る 萼が大きく目立つ
花は2cm 実は大きく皺がない

蛇苺ヘビイチゴ 日当たりの良い場所で生育
葉は黄緑色で艶がない、葉先が丸い 萼は先が尖る
花は1.5cm 実是小さく皺がある



瑠璃草 ルリソウ
本州中部地方以北で生育



海老根 エビネ 4月から咲き始め、木陰の株が今元気



泡盛升麻 アワモリショウマ
暖地の河岸、岩場に自生



莢迷 ガマズミ 「噛み
酢実」から転用



行者大蒜 ギョウジャニンニク 山に籠る修験者が食べて栄養をつけた



伊予蔓 イヨカズラ
海岸沿いで生育



クレマチス 園 紫花の方は終わり、今は白花



野薊 ノアザミ 鮮やかな赤紫、春のアザミ



ニホンアマガエル
クレマチスの花の上で蜜
や花粉を食べる昆虫を狙う



ヤブキリ幼虫 25mm大
成虫は木の上で暮らすキ
リギリスの仲間



アカサシガメ 17mm
小昆虫の体液を吸う



ホソハリカメムシ 11mm
稲科の植物を吸汁加害



ホオズキカメムシ 13mm
トマト、ナス科を吸汁加害



オオカマキリ幼虫
25mm大



ナナホシテントウ 8.5mm
肉食性、アブラムシ食べる



キイロナガツツハムシ
6mm クヌギの葉を食べる



ヒメウラナミジャノメ
後翅の目玉模様は5つ



ベニシジミ 幼虫の食草
はスイバ、ギシギシ



ヤミイロカニグモ 10mm
カニの様に横歩き、待ち伏せ



チュウガタシロカネグモ
10mm 銀色の背中に黒い模様



コアシナガバチ 17mm
女王蜂と思われる



コガタルリハムシ 5.5mm
ギシギシ、スイバ食べる



子グモのまどい 卵から孵化後、幼体の集団生活を
「まどい」という 息を吹きかけると「クモの子を
散らす」状態になる



弁 天 坂



忍冬 スイカズラ 花の細い
方を吸うと甘い蜜がある
金銀花ともいう



紫片喰 ムラサキカタバミ
外 南米原産 夜になると
花を閉じ、葉も半分畳む



猿取茨 サルトリイバラ
緑の実が秋には赤くなる



野茨 ノイバラ
日当たりの良い場所で
花開く



檀 マユミ
小さな花がいっぱいつく



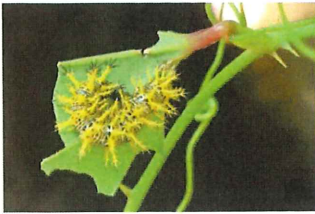
紅葉苺 モミジイチゴ
黄色い実は甘くておいしい



常盤露草 トキワツユクサ
外 非常に繁殖力が強い



水蠟の木 イボタノキ
小さな花がいっぱいつく



ルリタテハ幼虫 食草のサルトリイバラにいた



クロヤマアリ 6mm 体より大きな芋虫を運ぶ



アオオニグモ ♀ 11mm 葉を折りたたんだ巣の中に隠れている



見晴らしの丘



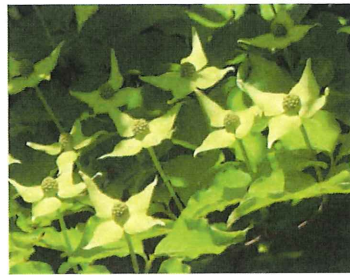
子クモ もやい



ワカバグモ 12mm 待ち伏せするクモ



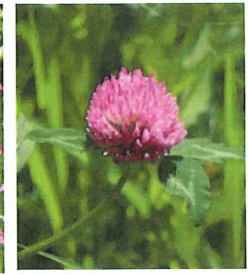
髪剃菜 コウゾリナ 茎や葉に剛毛がありカミソリの様だから 公園指標種



山法師 ヤマボウシ 花びらに見えるのは総苞、丸いのが小さな花の集まり



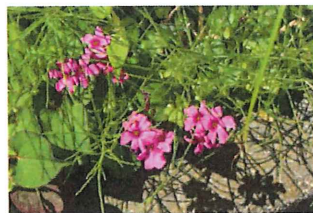
赤花夕化粧 アカバナユウゲショウ 外 草刈り前の見晴らしの丘



赤詰草 アカツメクサ 外



小屋顔 コヒルガオ



芋片喰 イモカタバミ 外 南米原産



クロオオアリ 7-13mm

見聞きした野鳥

ウグイス♪・ガビチョウ♪
ヒヨドリ・キジバト
昆虫：ヤマトシジミ・スジグロシロチョウ・ミナミアオカメムシ・キアシドクガ幼虫・ナミテントウ幼虫
アカボシゴマダラ(春型) モンキアゲハ

くわくわ森

今年は花の咲き方が早く、キンラン、アマドコロ、ホウチャクソウなど咲き終わりました



エゴノキ 花が下向きに咲き森のシャンデリアとも呼ばれる



宝鐸草 ホウチャクソウ ほとんど咲き終わり、何株か花があった



二人静 フタリシズカ



銀蘭 ギンラン 今年少なくて残念!



苦菜 ニガナ 明るい所で咲くはずが、森で咲く



水木 ミズキ



山桑 ヤマグワ 紫色の実おいしい



ニホンカナヘビ



エゴノキの落とし文
 落とし文（手渡せない恋文を、気がつく様に落としておく）
 正確には揺籃（ようらん）＝ゆりかご
 エゴツルクビオトシブミが卵を産むために巻いた葉



♂ 8-9.5mm ♀ 6-7mm
 揺籃は交尾した後♀だけで75分くらいかけて作る
 ※ 観察日には虫は見つからず（18年度の写真）



キアシドクガ 幼虫 ミズキの葉を食べる 今年は大発生はなかった



オオスズメバチ クヌギの樹液を吸っていた



ホソオビヒゲナガガ 跳ねる様な飛び方をする



ヒラタハナムグリ ♂は花、♀は朽木で見られる



ヒトツメオオシロヒメシャク

田んぼ



大地縛り オオジシバリ スギナの中で目立つ



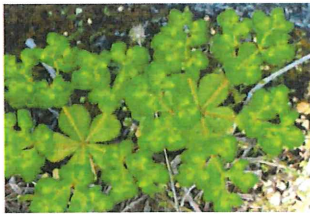
雄蛇苺 オヘイイチゴ 田んぼの畦道に群生する



毛狐の牡丹 ケキツネノボタン



蔓万年草 ツルマンネングサ 外 朝鮮、中国原産



燈台草 トウダイグサ



常盤櫨 トキワハゼ

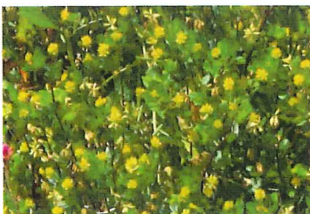


赤花夕化粧 アカバナユウゲショウ



薬玉詰草 クスダマツメクサ 外 欧州原産

俣野遊水地



米粒詰草 コメツブツメクサ 外 欧州原産



阿蘭陀芥子 オランダガラシ（クレソン） 外 欧州原産



秋菜莢 アキグミ 咲き始めの花は白、黄色に変わる



瘦靱 ヤセウツボ 外 詰め草など豆科に寄生する



トゲヒシバツタ 16-27mm
水の中を泳げる



ナミテントウ 4.7-8.2mm 幼虫も模様が違う
「赤地に黒紋」「黒地に赤紋」色々な模様がある
アブラムシを食べる



肉食で成虫、幼虫共に



ナナホシテントウ 5-8.6mm サナギ
成虫越冬する 肉食で成虫、幼虫共にアブラムシを食べる
アキグミの葉にナミテントウ、ナナホシテントウの幼虫・サナギが数多くあった



セイヨウミツバチ
12-13mm 黄色で茶色の縞



キイロホソガガンボ
12-14mm 成虫は樹液を
吸う



キアゲハ 70-90mm
前翅の付け根に黒紋



沼ガエル 3-5cm
本州以西に生息、国内外来種



バン

和泉川

境川



オイカワ 婚姻色



鬼胡桃 オニグルミ 雌花



カルガモ

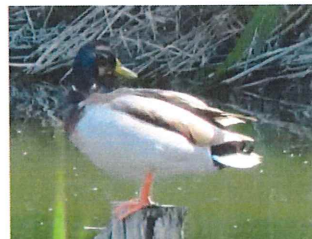


カワウ

下飯田遊水地



花独活 ハナウド
やや湿ったところで生育



マルガモ
正式な名前ではなくマガモとカルガモの混血ガモ



ホオジロ ♂



♀



昼咲月見草 ヒルザキツキミソウ

見聞きした野鳥

イワツバメ・ツバメ・コチドリ・イソシギ・コジュケイ♪・ヒヨドリ・カワセミ
ウグイス♪・オオヨシキリ♪・カワラヒワ♪・オオバン・アオサギ・スズメ
トカゲを啜えたチョウゲンボウ

昆虫

シオカラトンボ・ヒメジュウジナガカメムシ